

---

# ビル

トマト嫌い

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
ビル

【コード】  
N0774H

【作者名】  
トマト嫌い

【あらすじ】  
一人の人間を悪者と罵り…一人の人間を為政者と罵る…偽善者

(前書き)

見てくださってありがとうございます。

曲は作れないので半ばあきらめています(泣)

一応「詩」ではなく「詞」として作っております。

僕の知らない声が  
辺りに響き渡った

その声が聞こえていても  
聞こえないふりをしていた

いつの世も乱してきたのは  
たった一人の悪人だった  
そんなのは嘘だって  
まだ気が付かないのかい？

何があっても他人事で  
一人を悪人に仕立て上げ  
「君が悪い」と攻め立てる  
それでいいのかい？

高く高くそびえたつ  
あのビルから見下ろす  
重く重くのしかかる  
偽善者たちの視線

偽善者を許すなど  
知らない声は言ってた  
偽善者を許すなだって？  
意味わかって言ってるのか？

いつの世も滅びていくのは

たつた一人の為政者のせい  
そんなのは嘘だって  
まだ気が付かないのかい？

何があつても他人事で  
一人を為政者に仕立て上げ  
「お前のせいだ」と攻め立てる  
良いわけないだろう

高く高くそびえたつ  
あのビルから見下ろす  
淡く淡く薄れてく  
人に残る良心

世を乱したのは彼じゃない  
君たちの好きな偽善だろう  
世が滅びたのは彼のせいじゃない  
君たちがそう仕向けたんだろう

たとえ何かが起こつても  
すべてを一人のせいにする  
偽善者しかいないって  
まだ気が付かないのかい？

青く青く晴れ渡る  
あの大きな空まで  
高く高くそびえたつ  
あのビルから見下ろす

重く重くのしかかる  
偽善者たちの視線  
淡く淡く薄れてく  
人に残る良心  
叫ぶ叫ぶ偽善者  
「君がわるい」と為政者へ  
狙う狙う偽善者  
悪人にする人を  
叫ぶ叫ぶ知らない声  
偽善者たちを許すな  
消える消える知らない声  
叫んでいた彼はどこへ…？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0774h/>

---

ビル

2010年10月15日10時01分発行